

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	知能機械ケーススタディ		
英文授業科目名	Case Studies in Mechanical Engineering and Intelligent Systems		
開講年度	2009年度	開講年次	4年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	演習	単位数	4
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	M全教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
学部1～3年までの3年間に、講義、演習、実験を通して機械工学の基本を学んできた。この知能機械ケーススタディは、卒業研究と同様に与えられて学習するのではなく、自らの手と頭を駆使し、今後の多様な技術的問題に対処できる能力を身に受けることを目的とする。また、基礎科目、専門科目に関する理解を深めることも目的とする。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
卒業着手審査条件を満たし、合格すること。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
各指導教員の指示による。

<b>【教科書等】</b>
各指導教員の指示による。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
各研究室に所属し、指導教員の指導のもとに知能機械ケーススタディを行う。

<b>【授業時間外の学習（予習・復習等）】</b>
各指導教員の指示による。

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

指定した期日までに知能機械ケーススタディの結果をまとめて指導教員に提出する。その結果をもとに可否を判定する。

### 【オフィスアワー：授業相談】

各指導教員の指示による。

### 【学生へのメッセージ】

知能機械ケーススタディを通して、多様な技術的問題に対処できる能力を身につけて欲しい。就職した企業での製品の研究開発に知能機械ケーススタディで学んだ技術的問題に対処できる能力が大いに役立つ。

### 【その他】

知能機械ケーススタディは、有職者向けに設定された科目です。大学院に進学する学生は卒業研究を履修してください。